

平成26年度

追跡評価結果

平成26年7月

広島県立総合技術研究所

目 次

1 評価対象及び評価基準	
(1) 評価の対象	1
(2) 評価基準	1
2 評価結果	
(1) 評価結果一覧	3
(2) 評価概要	5
課題別追跡評価報告書	7

1 評価対象及び評価基準

県立総合技術研究所の研究課題について、「広島県研究課題評価マニュアル」に基づき追跡評価を実施し、その結果を取りまとめた。

追跡評価は、終了後一定期間が経過した課題について、研究成果の活用状況や波及効果等に関する評価を行い、研究成果が及ぼす社会・経済等への効果を把握し、県民に対する説明責任を果たすとともに、研究開発の企画・立案機能の強化、成果移転の効果的な推進に資することを目的として実施するものである。

(1) 評価の対象

平成24年度に終了した研究課題（研究終了後1年を経過した課題）	8課題
平成23年度に終了した研究課題（研究終了後2年を経過した課題）	4課題
平成22年度に終了した研究課題（研究終了後3年を経過した課題）	10課題

(2) 評価基準

(ア) 個別評価基準（総合技術研究所による評価）

① アウトカムの目標達成度（成果移転による直接的・間接的效果）

当該研究課題の実施によって実際にもたらされた事業効果に着眼し、開発技術の移転によるアウトカム（直接的・間接的效果）は、どのようなもので、どの程度の規模や価値を生じたかについて、研究予算総額に対する事業効果の大きさを比較し、次に掲げる目安により評価する。（県民生活上の事業効果を販売額などの数値で表せない場合は、研究予算総額に対して効果があるかどうかで評価する。）

A：目標を上回っている。（見込みを含む。）	研究予算総額<<波及効果
B：ほぼ目標どおり達成している。（見込みを含む。）	研究予算総額≒波及効果
C：目標を下回っている。	研究予算総額>>波及効果

② 成果移転の目標達成度

研究成果の移転における目標達成度を、研究計画書作成段階での目標、移転方法と企業、農家、行政事業等への移転状況及びその理由から評価する。

A：目標を上回っている。	達成度120%以上
B：ほぼ目標どおり達成している。	達成度70%以上～120%未満
C：移転は行っているが、目標を下回っている。	達成度20%以上～70%未満
D：移転は進んでいない。	達成度20%未満

③ 知的財産権等の活用状況

当該研究で生じた知的財産権（特許権、実用新案権、意匠権、著作権、育成者権など）等の活用状況について、実施許諾の有無と、実施許諾している場合は事業化（生産）まで進んでいるかに着眼し、次のとおり評価する。

A：実施許諾し、事業化されている。
B：実施許諾を行っている。
C：知財化（出願等）を行っている。
D：知財化（出願等）を行っていない。

(イ) 総合判定基準

個別評価結果の適切性を含め、評価委員会として、総合評価を行う。

S：成果移転、アウトカムいずれも、目標を上回っている。

A：成果移転、アウトカムいずれも、目標をやや上回っている。

B：成果移転、アウトカムいずれも、ほぼ目標どおりである。

C：成果移転、アウトカムいずれも、目標をやや下回っている。

D：成果移転が進んでおらず、アウトカムはない。

2 評価結果

(1) 評価結果一覧

評価結果一覧（課題番号順）

番号	研究課題名	セクター名	個別評価			総合評価結果
			成果移転の目標達成度	アウトカムの目標達成度	知的財産権等の活用状況	
26-追跡-001	ヘルスクライシスに關与する微生物の包括的検出法の開発	保健	C	B	C	C
26-追跡-002	多成分同時分析のための超高速抽出カートリッジ	保健	C	B	C	C
26-追跡-003	大豆発酵物の機能性解明とその利用技術の開発	食品	D	C	D	D
26-追跡-004	酵素による分子改変を利用した動物性素材の食感・食味創造技術の開発	食品	A	A	A	S
26-追跡-005	FET（電界効果型トランジスタ）一体型高感度センサの開発	西部	C	C	D	D
26-追跡-006	車載モジュール用プラットフォームの開発	西部	A	B	D	A
26-追跡-007	樹脂ガラスの超硬化・UV カット表面コーティング技術の開発	西部	B	C	C	C
26-追跡-008	ハイサイクルなダイカスト成形を可能にする金型冷却技術の開発	西部	C	B	C	C
26-追跡-009	ものづくり基盤技術高度化プロジェクト	西部	B	B	C	B
26-追跡-010	自動車の軽量化を実現するために必要な新接合プロセスの開発	東部	C	C	C	D
26-追跡-011	産地活性化を狙った県独自性の高いカンキツ類の新品種育成	農業	B	C	A	C
26-追跡-012	温州ミカン「石地」の早期多収を目指す主幹形栽培技術の確立	農業	B	A	D	A
26-追跡-013	イチジク‘蓬菜柿’の安定生産を実現する株枯病の画期的防除技術の開発	農業	C	C	D	D
26-追跡-014	ハウレンソウの難防除害虫ハウレンソウケナガコナダニ総合防除法の開発	農業	B	B	D	B
26-追跡-015	水耕ネギ根腐症防除技術の開発	農業	C	C	D	D
26-追跡-016	乳用牛性判別胚生産技術の開発	畜産	C	B	D	C
26-追跡-017	クローン検定の効率化を目的とした遺伝情報付加胚生産技術の開発	畜産	B	B	D	B
26-追跡-018	濃厚飼料価格高騰に対する自給粗飼料多収・多給技術の開発	畜産	B	B	D	B
26-追跡-019	地付魚（メバル・オニオコゼなど）の蓄養技術の高度化と効率的な活魚輸送技術の開発	水産	B	B	A	B
26-追跡-020	むき身かきの鮮度保持技術の開発～広島かきのシェア回復・拡大に向けて～	水産	A	A	D	S
26-追跡-021	「低コスト林業団地」における効率的な路網計画産駒低技術の開発	林業	B	B	D	B
26-追跡-022	木材の不燃化等高機能化技術の開発	林業	B	B	C	B

評価結果一覧（総合評価区分別）

番号	研究課題名	センター名	個別評価			総合評価結果
			成果移転の目標達成度	アウトカムの目標達成度	知的財産権等の活用状況	
26-追跡-004	酵素による分子改変を利用した動物性素材の食感・食味創造技術の開発	食品	A	A	A	S
26-追跡-020	むき身かきの鮮度保持技術の開発～広島かきのシェア回復・拡大に向けて～	水産	A	A	D	S
26-追跡-006	車載モジュール用プラットフォームの開発	西部	A	B	D	A
26-追跡-012	温州ミカン「石地」の早期多収を目指す主幹形栽培技術の確立	農業	B	A	D	A
26-追跡-009	ものづくり基盤技術高度化プロジェクト	西部	B	B	C	B
26-追跡-014	ハウレンソウの難防除害虫ハウレンソウケナガコナダニ総合防除法の開発	農業	B	B	D	B
26-追跡-017	クローン検定の効率化を目的とした遺伝情報付加胚生産技術の開発	畜産	B	B	D	B
26-追跡-018	濃厚飼料価格高騰に対する自給粗飼料多収・多給技術の開発	畜産	B	B	D	B
26-追跡-019	地付魚（メバル・オニオコゼなど）の蓄養技術の高度化と効率的な活魚輸送技術の開発	水産	B	B	A	B
26-追跡-021	「低コスト林業団地」における効率的な路網計画産駒低技術の開発	林業	B	B	D	B
26-追跡-022	木材の不燃化等高機能化技術の開発	林業	B	B	C	B
26-追跡-001	ヘルスクライシスに關与する微生物の包括的検出法の開発	保健	C	B	C	C
26-追跡-002	多成分同時分析のための超高速抽出カートリッジ	保健	C	B	C	C
26-追跡-007	樹脂ガラスの超硬化・UV カット表面コーティング技術の開発	西部	B	C	C	C
26-追跡-008	ハイサイクルなダイカスト成形を可能にする金型冷却技術の開発	西部	C	B	C	C
26-追跡-011	産地活性化を狙った県独自性の高いカンキツ類の新品種育成	農業	B	C	A	C
26-追跡-016	乳用牛性判別胚生産技術の開発	畜産	C	B	D	C
26-追跡-003	大豆発酵物の機能性解明とその利用技術の開発	食品	D	C	D	D
26-追跡-005	FET（電界効果型トランジスタ）一体型高感度センサの開発	西部	C	C	D	D
26-追跡-010	自動車の軽量化を実現するために必要な新接合プロセスの開発	東部	C	C	C	D
26-追跡-013	イチジク‘蓬莱柿’の安定生産を実現する株枯病の画期的防除技術の開発	農業	C	C	D	D
26-追跡-015	水耕ネギ根腐症防除技術の開発	農業	C	C	D	D

《センター名》

保健：保健環境センター 食品：食品工業技術センター 西部：西部工業技術センター
 東部：東部工業技術センター 農業：農業技術センター 畜産：畜産技術センター
 水産：水産海洋技術センター 林業：林業技術センター

(2) 評価概要

1) 総合評価方法について

総合評価に当たっては、「成果移転の目標達成度」、「アウトカムの目標達成度」の2項目の個別評価結果を基に総合的に判定した。

なお、知的財産権等の活用状況については、実施許諾の有無を重視し、今後のアウトカムの拡大等への期待値として取り扱う。

2) 結果概要について

5つの評価区分（SABCD）のうち標準であるB評価以上の課題は11課題であった。そのうちS評価は2課題、A評価は2課題、B評価は7課題であった。

<総合判定基準 再掲>

- S：成果移転，アウトカムいずれも，目標を上回っている。
- A：成果移転，アウトカムいずれも，目標をやや上回っている。
- B：成果移転，アウトカムいずれも，ほぼ目標どおりである。
- C：成果移転，アウトカムいずれも，目標をやや下回っている。
- D：成果移転が進んでおらず，アウトカムはない。

課題別追跡評価報告書

目 次

番号	研究課題名	センター名	
26-追跡-001	ヘルスクライシスに關与する微生物の包括的検出法の開発	保健	11
26-追跡-002	多成分同時分析のための超高速抽出カートリッジ	保健	15
26-追跡-003	大豆発酵物の機能性解明とその利用技術の開発	食品	18
26-追跡-004	酵素による分子改変を利用した動物性素材の食感・食味創造技術の開発	食品	21
26-追跡-005	FET（電界効果型トランジスタ）一体型高感度センサの開発	西部	25
26-追跡-006	車載モジュール用プラットフォームの開発	西部	29
26-追跡-007	樹脂ガラスの超硬化・UVカット表面コーティング技術の開発	西部	34
26-追跡-008	ハイサイクルなダイカスト成形を可能にする金型冷却技術の開発	西部	38
26-追跡-009	ものづくり基盤技術高度化プロジェクト	西部	42
26-追跡-010	自動車の軽量化を実現するために必要な新接合プロセスの開発	東部	46
26-追跡-011	産地活性化を狙った県独自性の高いカンキツ類の新品種育成	農業	52
26-追跡-012	温州ミカン「石地」の早期多収を目指す主幹形栽培技術の確立	農業	56
26-追跡-013	イチジク‘蓬莱柿’の安定生産を実現する株枯病の画期的防除技術の開発	農業	60
26-追跡-014	ハウレンソウの難防除害虫ハウレンソウケナガコナダニ総合防除法の開発	農業	64
26-追跡-015	水耕ネギ根腐症防除技術の開発	農業	69
26-追跡-016	乳用牛性判別胚生産技術の開発	畜産	73
26-追跡-017	クローン検定の効率化を目的とした遺伝情報付加胚生産技術の開発	畜産	77
26-追跡-018	濃厚飼料価格高騰に対する自給粗飼料多収・多給技術の開発	畜産	81
26-追跡-019	地付魚（メバル・オニオコゼなど）の蓄養技術の高度化と効率的な活魚輸送技術の開発	水産	85
26-追跡-020	むき身かきの鮮度保持技術の開発～広島かきのシェア回復・拡大に向けて～	水産	89
26-追跡-021	「低コスト林業団地」における効率的な路網計画産駒低技術の開発	林業	94
26-追跡-022	木材の不燃化等高機能化技術の開発	林業	98

《センター名》

保健：保健環境センター 食品：食品工業技術センター 西部：西部工業技術センター
 東部：東部工業技術センター 農業：農業技術センター 畜産：畜産技術センター
 水産：水産海洋技術センター 林業：林業技術センター

